



## ■プログラミングでロボット操作

8月28日(火)に大崎小学校パソコン室において、町内の小学校教員を対象に「大崎町プログラミング教育実技研修会」が行われました。

講師として、鹿児島大学の余永(ヨ・エイ)教授と技術職員、大学院生、大学生を招き、講義や実技研修をしていただきました。

実技研修では、プログラミング入力を行い、実際にロボット操作を体験しました。

平成32年度より小学校で必修となるプログラミング教育を推進するためにも、有意義な研修会になりました。



## ■おめでとうございます！

### <第69回鹿児島県図画作品展>

優秀学校賞	大崎小学校・野方小学校
南日本放送賞	野方小3年 <small>ふじおか</small> 藤岡 <small>あんじ</small> 庵爾
市長会会長賞	大崎小5年 <small>とうご</small> 藤後 <small>せいだい</small> 惺大

他にも多くの児童生徒が特選・入選に入りました。



藤後 惺大さん



藤岡 庵爾さん

# まぶの窓おの庭

## 『子育ての「ブレない軸」』

No.51

持留小学校 校長 長澤 俊英

若い頃に勤務した大規模校での職員会議の出来事です。卒業式の実施計画について長い協議が続き、結論を見いだせないでいたところ、ある先輩が次のような発言をされました。「卒業式ってのは『卒業証書授与式』なんだから、大切なのは子どもたちに心を込めて卒業証書を渡すということで、その他の部分は6年担任の思いを尊重して任せてもいいんじゃないですか。」と…。

重苦しい空気は一掃され、話し合いは「どうしたら大人数の卒業生にきちんと証書を渡せるか」に絞られ、ほどなく結論に至りました。このときの経験は、私の教員としての「軸」となっていったように思います。学校では、毎月の会議や研修などで多くの協議をします。時には、方法論のみに終始してしまうこともありました。そんな時にはいつも「大切なことは何か?」「この行事でどんな子どもに育てたいのか?」を自問するようになってきました。「ブレない軸」という言葉は、ここ数年、マスメディアを中心によく見聞きするようになりました。社会の変化が急速化・多様化する今、誰もが目先のことに惑わされることなく、本質を大切にすることが求められているからこそでしょう。子どもを育てるといふことでは、家庭も同じです。我が子をどんな大人へと育てたいのか、そのためにはどんなことが必要なのか。例えばスマホやタブレットに携帯型ゲーム機、SNSやYouTubeなど、これからの社会に必要なアイテムとの向き合い方について、それぞれの家庭での「ブレない軸」をもっておくことが大切なのではないのでしょうか。

幼少期、周りの友だちがグローブを買ってもらい、変速機付きの自転車に乗っているのを見て、「みんな持っているから新しいのを買ってほしい」とねだった私に「まだ使えるでしょ!よそはよそ、うちのうち!」とばっさり切られたことを思い出します。「ブレない軸」をもって育ててくれた母に、今になって感謝する毎日です。

